

学校自慢

動物いっぱい 花いっぱい
歌声いっぱい 夢いっぱい
みんな大好き 古河一小

歴史に息づく好学の気風

出城っこたちの 「おもてなしパンフレット」

古河第一小学校



平成 29 年 6 月発行

古河市の渡良瀬川河川敷には、かつて関東最大規模の城郭「古河城」がありました。いまでも、旧城下町の風情を残す町並みや寺社がのこっています。古河第一小学校はその出城があった場所に建てられています。平成 28 年度に校舎の建て替えと外構工事が完了し、新しく生まれ変わりました。校内の施設には、学校周辺や古河市の歴史にちなんだ名称（愛称）がつけられています。



【古河第一小学校赤門】

ゆきどのくん

【古河第一小学校全景】

〈1904 年（明治 37 年）建設〉
国指定重要文化財の野木町煉瓦窯でつくられた煉瓦を使っています。東京駅にも使われている煉瓦です。

〈2016 年（平成 28 年）門扉改築〉
1904 年建設当時の門扉を当時の資料をもとに忠実に復元しました。
平成 29 年度には、「第 1 回古河市景観賞 古河市景観まちなみ賞」を受賞しました。



【雪華（ゆきはな）広場】

古河の殿様、土井利位（どいとしつら）は雪の結晶の研究をして、世界最初の雪の研究書「雪華図説（せっかづせつ）」をまとめました。その功績を大切にするため、中庭を「雪華（ゆきはな）」広場と名付けました。



【やぐら門】

子どもたちは、建物の下を通過して登下校します。学校が古河城の出城があった場所に建っていることにちなんで名づけました。石垣もお城の雰囲気を感じさせます。

どいしゃむつら

【将軍坂】

古河一小的校庭は、古河城のお堀があったところを埋め立てたもので、ちょうど中心を通るところに古河城に入る道があったそうです。日光詣の際、将軍は坂道を下り、この道を通って入城したそうです。将軍が通った場所に建てられた学校は、全国的にも珍しいのではないのでしょうか。



あしかがにやうじ

たかみきゃんせき



【オランダ坂】

古河一小は、蘭学者、鷹見泉石（たかみせんせき）の生家があった場所でもあります。

〈一小もの知りクイズ〉

右の写真は、新校舎完成を記念して作られた石のプレートの一つです。全部で 9 枚のこのプレートには、校章や雪の結晶がデザインされています。どこにあるでしょう。

（ヒント：このプレートは旧校舎の柱があった場所にあります。）

